

ヒルガオ科 サツマイモ属

マルバアサガオ (丸葉朝顔)

Ipomoea purpurea (L.) Roth

自生環境

道ばた、荒れ地 など

原産地

熱帯アメリカ

予想される被害

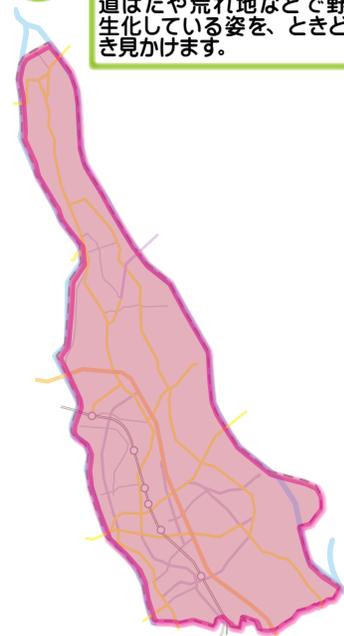
駆逐



市内では今のところ、人里周辺でたまに見られる程度です。つるを旺盛に伸ばし、あたりを覆う勢いで広がるため、栽培するときは、野生化させないようにしましょう。

市内の分布状況

道ばたや荒れ地などで野生化している姿を、ときどき見かけます。



特徴

- ☆ いわゆるアサガオのひとつで、国内には 1700 年代に観賞用として渡来しました。定番種のアサガオの葉が 3 つに裂けるのに対し、丸っこいハート形であることから、マルバアサガオと呼ばれています。
- ☆ 夏に直径 8cm ほどの紫色の花を次々と咲かせます。花期が長く、初霜のたよりが聞こえるころまで咲き続けることもしばしばです。花色は紫色が多いのですが、白色や赤紫色、ピンク色などの色ちがいも見られます。果実は下を向くようにつきます。
- ☆ アサガオの仲間には種類によってがくのかたちが異なるため、それが重要な識別ポイントとなります。マルバアサガオの場合、幅広く短めのがくで、先は少し丸みを帯びます。

雑草化するアサガオ

アサガオの仲間は、きれいな花を咲かせるため、夏の風物詩として人気があります。代表種アサガオのほかにも、マルバアサガオなどいくつかの種類が栽培されています。そのため庭の花のイメージが強いのですが、近年は、これらの一部が、こぼれたタネから雑草と化し繁茂しています。アサガオの仲間を育てるときは、周囲に野生化させないように気をつけましょう。



紫色の花を咲かせる株が多い



葉はハートのようなかたち



ピンクや白の花を咲かせる株もある



がくは幅広く短く、先はとがらない

がくの毛は少ない



果実の中に黒っぽいタネが数個ずつ入る



花色がちがっていてもがくのかたちで見分けられる



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

